

我が県土
支え育む
希望郷



美しい

県土づくりNEWS

2020年

10月

岩手県 県土整備部

手づくり広報誌第195号

令和2年10月30日発行

編集 県土整備企画室

目次

- 2 築川ダムの試験湛水を開始しました！！
- 4 花巻空港の滑走路舗装改良工事を進めています！
- 6 いわて建設業みらいフォーラムを開催しました！
- 8 県内各地で景観学習を開催しています！
- 9 省エネ住宅普及の取組
～いわて気候チャレンジフェスタ2020への参加～
- 10 地震に強い住まいづくりを支援します！
- 11 全国知事会令和2年度優秀政策に水門・陸間自動閉鎖システムが受賞！
- 12 岩手「道の駅」スタンプラリーが始まります！

三陸復興

築川ダムの試験湛水 湛水式を開催しました！

昭和53年に予備調査に着手してから今年で42年が経過している築川ダム建設事業では、これまでダム完成時に貯水池に水没する湛水区域における補償や一般国道106号、主要地方道盛岡大迫東和線の付替え工事を行い、平成26年度からはダム本体工事を進めてきました。

この度、ダム本体及び管理設備の整備が完了したことから、令和2年10月2日（金）に試験湛水を開始する「湛水式」を開催しました。

式典には、盛岡広域振興局長、県土整備部長をはじめ、共同事業者である盛岡市上下水道局、矢巾町上下水道課、岩手県企業局の職員、盛岡広域振興局土木部職員及び工事関係者等が出席しました。



試験湛水開始直前のダムの状況（堤体上流側からドローンで撮影）

【築川ダム建設事業】 築川ダムの試験湛水を開始しました！！

盛岡広域振興局土木部築川ダム建設事務所

10月2日（金）、県が建設を進めている「築川ダム」において、ダム本体及び管理設備等の整備が完了したことから、試験湛水を開始する「湛水式」を開催しました。

試験湛水は、ダムの運用を開始する前に試験的に貯水池内に水を貯め、ダム本体及び貯水池周辺の斜面等の安全性を確認することを目的とし、築川の水が流れる堤内仮排水路を閉塞ゲートで締め切ることにより貯水を開始します。

築川ダムでは平年並みの降雨の場合は、来年1月下旬に最高水位まで達し、その後所定の標高まで水位を低下させ、2月下旬に試験湛水が終了する見込みです。

湛水式では、泉盛岡広域振興局長、中平県土整備部長や共同事業者等の関係者がゲート閉鎖スイッチを押して、試験湛水がスタートしました。なお、式典では、新型コロナウイルス感染予防対策として、出席者の配席は十分な間隔をとり、万歳三唱では発声者以外はポーズのみとする新しい生活様式に則して実施しました。



盛岡広域振興局長による主催者挨拶



ゲート閉鎖作業開始



湛水開始を祝し、万歳三唱



堤内仮排水路トンネルの閉塞ゲート

今後は、試験湛水と並行して周辺環境整備等を進め、事業完了と来年度の管理移行に向けて取り組んでいきます。

築川ダム概要

築川ダムは、**築川の治水対策**、盛岡市及び矢巾町への**上水道供給**並びに企業局による**水力発電**を目的として建設される多目的ダムです。

洪水調節

台風や大雨により増水した川の水をダムに貯めて、川の水があふれないように調節して安全に流します。

流水の正常な機能の維持（既得取水の安定化、河川環境の保全）

魚類等の生息に必要な流量の確保や従前から利用されている農業用水等の安定的な取水のため、渇水時にダムから流水を補給し、豊かで清らかな築川を維持し潤いある地域の環境を守ります。

水道水の確保

私たちの暮らしに欠かすことができない水道水を確保します。築川ダムでは盛岡市と矢巾町あわせて1日最大5,000 m³を供給します。（約11,000人が1日に使う量です。）

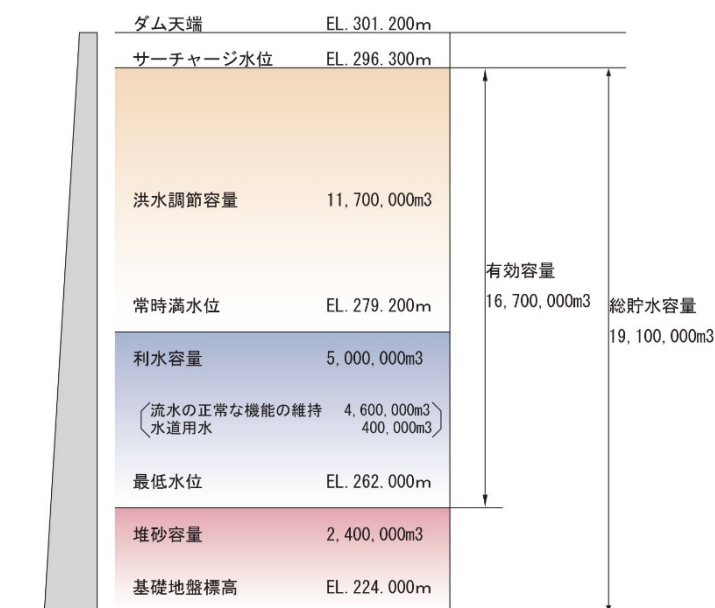
水力発電

岩手県企業局において、築川ダムからの放流水を利用した水力発電を行います。最大出力は1,900kWで1年あたり約1,100万kWhの売電を見込んでいます。（一般家庭約3,300世帯分に相当します。）

（計画諸元）

型 式	重力式コンクリート
堤 高	77.2m
堤 頂 長	242.7m
堤 体 積	230 千m ³
総貯水容量	19,100 千m ³
有効貯水容量	16,700 千m ³
洪水調節容量	11,700 千m ³
不特定容量	4,600 千m ³
水道用水容量	400 千m ³
湛水面積	0.97km ²
総事業費	530億円
工 期	令和2年度完成予定

（貯水池容量配分図）



※水力発電については、発電のための貯水は行わず、ダムからの放流水を使って発電するため、利水容量はありません。

築川ダム試験湛水の状況をHPで公開

試験湛水実施中の貯水位変動の状況については、**築川ダム建設事務所のホームページ**で**毎日（閉庁日を除く）**写真を公開します。タイプラプスについても定期的に更新しますので是非ご覧ください。

<https://www.pref.iwate.jp/morioka/yanagawa/1012721/1033806.html>

《岩手県トップページ⇒盛岡広域振興局⇒築川ダム建設事務所⇒築川ダム建設事業の最新情報はこちらから！⇒築川ダムの試験湛水の様子を公開します（随時更新中）》

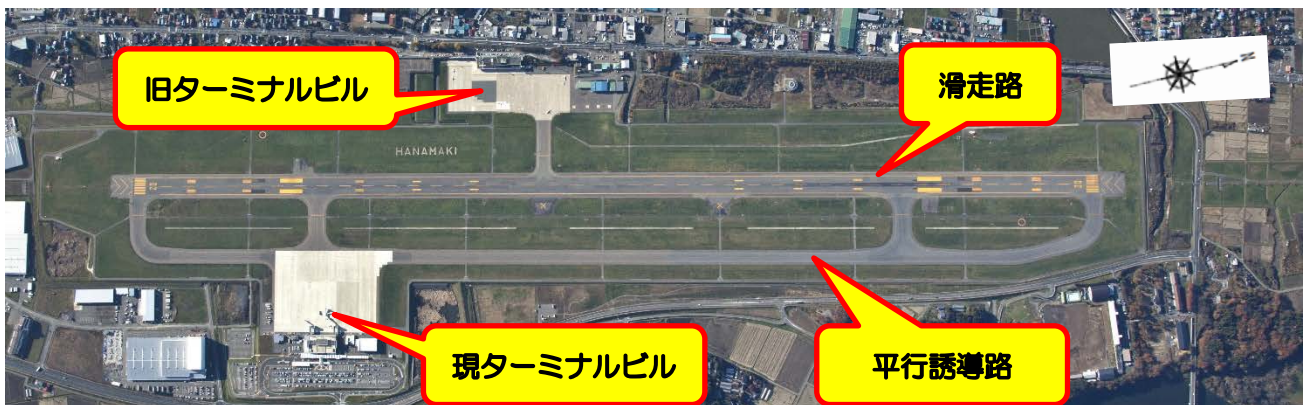
【空港整備事業】

花巻空港の滑走路舗装改良工事を進めています！

県土整備企画室（空港管理担当）

花巻空港は、昭和 39 年に 1,200mの滑走路で供用を開始し、昭和 58 年に滑走路を 2,000mへ、平成 17 年には 2,500mへと拡張し、更に、平成 23 年に平行誘導路の供用を開始するなど、多様化する機材の受入や増加する需要への対応、安全性の一層の向上を図ってまいりました。

また、より快適に空港を利用いただけるよう、平成 21 年にターミナルビルを空港東側に新築移転し、平成 23 年には国際線チェックインカウンターを増設するなど需要の高まる国際チャーター便の受入機能の向上にも努めています。



■ 花巻空港の概要

滑走路	L=2,500m W=45m
誘導路	L=2,910m W=23m、28.5m、30m、34m
運用時間	8:00~19:30

現在の滑走路 2,500mでの供用開始から 15 年が経過し、滑走路面の劣化が進んでいることから、平成 30 年度に実施した滑走路面の性状調査の結果を基に、平成 31 年度に詳細設計、今年度から滑走路面の舗装改良工事に着手したところです。

空港工事では、日中は旅客機等の運航が行われていることから、滑走路内での工事が実施できないため、空港を閉鎖している夜間にのみ実施しています。

工事は、40m/日程度を目途に路面の切削、舗設、既設路面への擦り付けを 1 サイクルとして、翌朝までに 1 サイクルを完了するよう、安全面・工程面に細心の注意を払いながら実施しています。翌朝には、滑走路内に工事資材の残置がないか、路面に段差が生じていないかなどの最終点検を行い、安全を確認した上で、空港の運用を開始しています。

このため、工事業者のみならず工事監督を行う花巻空港事務所職員も特殊勤務シフトを編成して、夜間工事の立会、朝の滑走路点検等を鋭意行っています。

なお、積雪前に工事を完成させる必要があることから、今年度の舗装工事は完了しました。令和 6 年度の事業完了に向け、来年度以降も引き続き事業を推進していきます。

滑走路舗装改良事業概要

事業期間	R2～R6
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 滑走路舗装改良 面積 130,000m² (2,500m×52m) 滑走路灯火・誘導路灯火 撤去再設置
事業費	約 14 億円

路面切削状況



舗設状況（アスファルトフィニッシャー敷均し）



舗設状況（ローラ締め）



舗設完了状況



※舗設機械は、道路舗装工事に用いる建設機械よりも大型な機械を使用しています！
 ※一定期間の舗設養生後、ハイドロプレーニング現象の抑制等を目的に、滑走路横断方向に深さ6mm程度の溝を掘るグルーピング工事を行います。

これまでのいわて花巻空港を迎えるミニツアー（岩手県公式HPで公開中！）

例年、9月下旬に開催している空の日記念事業のスカイフェスタは、新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度の開催は中止となりました。そこで、空の日記念事業の情報発信をするため、県公式HPにていわて花巻空港開港当時から現在に至るまでの歴史やこれまでのスカイフェスタや花巻空港での出来事などを紹介しています。

いわて花巻空港を迎えるミニツアーに是非ご参加（ご覧）ください！！ ↓以下のHPリンクより
<https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kouwankuukou/airport/1009705/1033312.html>

いわて建設業みらいフォーラム

を開催しました

建設技術振興課

令和2年10月21日(水)、岩手県民会館大ホールにて「いわて建設業みらいフォーラム」を開催しました。

本フォーラムは、県民の安全で安心な暮らしに果たす建設業の役割やその魅力を積極的に発信することで、建設業のイメージアップを図り、次世代を担う若者をはじめとした県民の建設業への理解や関心を高めることを目的としたもので、今回で8回目の開催となります。

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策として一般の方の参加を見合わせ、県内で建設業を学ぶ生徒・学生約300名の方々にご参加いただき、建設に係る取組事例の発表や建設業のこれからを語るパネルディスカッションを行ったほか、企業ブースでの建設企業の紹介、技術展示を行いました。

第1部 建設に係る取組事例発表

建設に係る取組事例発表では、県内の建設企業で働く、三陸土建(株)の中村翔さん、(株)山下組の赤坂渉さん、(株)平野組菊地あゆみさんから、それぞれ土木工事、建築工事の現場での業務の内容や、仕事のやりがい等について発表していただきました。

また、これから建設業に携わっていく学生、生徒を代表して水沢工業高校インテリア科3年の古山那智さん、佐々木正香さん、高橋航平さんから、同校の資格取得に向けた取組や学校生活を通して学んだことについて発表していただきました。



会場の様子



中村翔さん(三陸土建(株))



赤坂渉さん(株)山下組



水沢工業高校インテリア科の生徒



菊地あゆみさん(株)平野組

第2部 パネルディスカッション

コーディネーターとして、県建設業協会青年部連絡協議会会長の青木健一さんを迎え、「建設業の役割」、「けんせつ小町部会の紹介」、「参加者からの建設業に関する質問」についてパネルディスカッションを行いました。

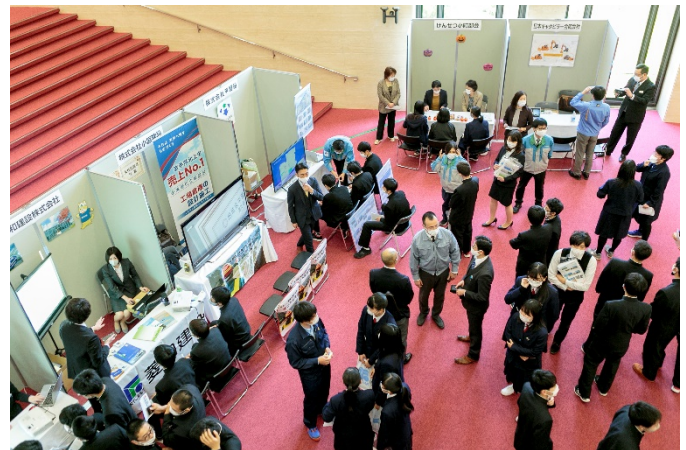
「建設業の役割」では、パネラーとして、取組事例を発表していただいた中村さん、赤坂さんに加え、岩手県県土整備部道路環境課熊谷主査を交え「土木の醍醐味」、「地域を守る建設業の役割」、「東日本大震災からの復興」などについてお話しいただきました。

「けんせつ小町部会の紹介」では、建設業において女性の活躍推進の取組が進められており、本フォーラムでも多くの女子生徒が参加しております。このようなことから、岩手県と(一社)岩手県建設産業団体連合会が協力している「けんせつ小町部会」の取組についてご紹介しました。

「参加者からの建設業に関する質問」では、取組事例を発表していただいた菊地さんに対し、参加者を代表して水沢工業高校の女子生徒2名から、「工事現場の環境」や「建設業に入職して良かったこと、大変なこと」など、普段、疑問に思っていることや、不安に感じていることなどについて質問が行われました。



パネルディスカッションの様子



このほか、会場ロビーでは、県内建設会社による企業紹介や、けんせつ小町部会による相談コーナー、ICT 建機メーカーによる技術展示が行われ、参加者が興味深く積極的に見学していました。

フォーラムの成果と今後に向けて

フォーラム実施後のアンケートでは、

- ・将来の事について考えることが出来た。もっと、自分の進路について考えようと思った。
- ・広くたくさんの方に興味を持つこと、資格を取っておくことなどが、就職に役立つことが分かった。今、出来ることを一生懸命がんばりたい。
- ・ロビー展示では、企業ごとに、どのような仕事を行っているか知ることができて参考となった。VR 体験も出来て、楽しみながら学ぶことが出来た。
- ・女性が働きやすい現場づくりなど、女性が働きやすい環境もつられていると感じた。
- ・建設業の魅力などを知ることができ、さらに興味を持ちました。

といった好意的なご感想、ご意見をいただきました。

今後も、ご意見を生かしながら継続してフォーラムを実施していきたいと考えております。

いわて建設業みらいフォーラムで行った取組事例発表等については、ホームページ (<https://iwakenmf.com/>)において、ご覧いただけます。

県内各地で景観学習を開催しています！

都市計画課

都市計画課では、子どもたちが身近な景観を通じて地域の魅力や課題を発見する体験型学習「景観学習」を、各市町村と連携しながら実施しています。

令和2年度は、5市町8校が景観学習に取り組み、そのうち5校が初めての実施となっており、県内における景観学習の取組が広がっています！

景観学習とは？

景観学習は、県内の小・中学生を対象に、身近な景観から地域の歴史や文化を理解しながら地域の魅力を感じ取る機会を提供することにより、『①景観とは何かということについて理解を促し、②地域の景観をみんなの共有財産として大切にすることを意識を高め、③地域に対する誇りや愛着心を育み、景観づくりの担い手として自ら考え行動できる人材を育成する』ことを目的とした取組です。

景観学習の流れ(例)



1日目<ガイダンス・まち歩き>

- ・『景観』『まち歩き』について授業を実施。
- ・学校の外に出て、『好き』『嫌い』『気になる』などたくさんの景観を自由に撮影。(デジタルカメラの貸与はひとり1台！)

2日目<景観シート・マップ作成>

- ・撮影した写真を印刷し、①テーマ、②どう思ったか、③タイトルをまとめる。
- ・選んだ景観の撮影位置を地図にプロットして、マップをつくる。

令和2年度の実施状況

【講師】 岩手大学農学部 三宅 諭 准教授

【講師】 いわてNPO-NET サポート 菊池 広人 事務局長

令和2年度 岩手県景観学習実施学校			
	学校名	学年・人数	実施時期
1	一関市立涌津小学校	3年生 20人	6月
2	陸前高田市立矢作小学校	6年生 4人	9月
3	盛岡市立高松小学校	3年生 55人	9月
4	一関市立猿沢小学校	4年生 10人	9月
5	陸前高田市立高田小学校	3年生 27人	10月
6	一関市立桜町中学校	1年生 104人	11月
7	一関市立涌津小学校	5年生 21人	11月
8	釜石市立鶴住居小学校	3年生 27人	11月
9	山田町立船越小学校	6年生 22人	11月
北上市 実施	北上市立笠松小学校	3年生 10人	6月・9月
	北上市立和賀西小学校	3年生 18人	6月
奥州市 実施	奥州市立衣里小学校	3年生 8人	5月
	奥州市立水沢小学校	3年生 109人	8月

平成 22 年度の取組開始から、令和 2 年 10 月末までに、15 市町村 28 校（累計 61 校）で実施！

また、北上市と奥州市では市町村主体による取組を実施しています！

子どもたちからは、
「自分の住んでいる地域には、素敵な場所がたくさんあることが分かった！」
「カメラで写真を撮るのが楽しかった！」



などの声や、先生方からも「地域学習に適していてとてもいい取組です！」という感想をいただいています！

景観学習の実施内容については、『景観学習のススメ』を参考にしてください！（岩手県 景観学習で検索！）

<https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/toshigesui/machizukuri/1010110/1010114.html>

省エネ住宅普及の取組

～いわて気候変動チャレンジフェスタ 2020 への参加～

建築住宅課

地球温暖化などによる気候変動により、世界各地で深刻な異常気象が発生し、大きな問題となっている中、**住宅における温暖化防止・緩和対策を進める**ため、9月26日（土）～27日（日）に開催された、県環境生活部主催の「**いわて気候変動チャレンジフェスタ 2020**」において**省エネ住宅のブース**を出展しました。



ブースでは、省エネ住宅についての説明パネルや県内事業者の取組を紹介したパネル展示のほか、窓ガラスや断熱塗料の省エネ性能を体感できる体験コーナーを設置しました。

省エネ住宅説明パネル

県内事業者の取組紹介パネル

出展：Q HOME 株式会社松本（九戸村）



(説明パネル展示)



(体験コーナー)



(省エネ性能の体感キット)

イベント当日は、消毒など、新型コロナウイルス感染症対策を行いながらの開催でしたが、多くの来場者にブースをご覧いただき、住宅における省エネ性能の必要性をご理解いただきました。**引き続き、省エネ住宅の普及に取り組んでいきます。**

地震に強い住まいづくりを支援します！

～木造住宅耐震診断・改修事業のご案内～

建築住宅課

県及び各市町村は、昭和56年以前に建築された木造住宅について、耐震診断の事業や、耐震改修に対する補助事業を実施しています。事業を活用して地震に強い住まいづくりに取り組みましょう。

県及び市町村では木造住宅の耐震診断及び耐震改修を行う場合に補助制度を設けています。耐震性が不足している場合に、相談員を派遣し耐震診断結果の詳細な説明や必要な耐震改修工事の概要などについての個別相談を無料で受けることができる制度もあります。

『これまでの地震を耐えたから、今後も大丈夫』と過信せず、大切な家族の命と財産を守るため、事業を活用して地震に強い住まいづくりに取り組みましょう。

制度の詳細やお申込み方法は、お住まいの市町村の担当課にお問い合わせください。

【補助制度を利用した耐震改修の流れ】



【耐震改修促進月間】

県では、毎年10月を「耐震促進運動月間」と定め、平成19年度から岩手県耐震改修促進計画の推進のための取組を実施しています。

今年度は、市町村等と連携して、旧耐震基準で造られた木造住宅が比較的多く集まっている地域の戸別訪問を実施し、11月はオンラインでの耐震相談会を実施予定です。



戸別訪問実施の様子

【市町村の担当課・募集状況(県ホームページ)】

耐震診断:

耐震改修:

全国知事会 令和2年度優秀政策 水門・陸閘自動閉鎖システムが受賞！

県土整備企画室

全国知事会では、都道府県同士がそれぞれの先進的な取組を提案・共有し合い、良いものを広げるとともに、切磋琢磨により創造性豊かな発想に繋げる情報提供の場として活用することを目的に、「先進政策バンク」として、インターネットを通じて事例の収集及び閲覧、分野別や団体別などの分類による検索を行えるようにしています。

今年度、先進政策バンクに登録されている約 4,100 件の政策の中から、都道府県及び全国知事会頭脳センター専門委員の評価・審査を経て、34 件の令和 2 年度優秀政策を決定し、本県が登録していた「水門・陸閘自動閉鎖システム」が優秀政策の 1 つに選定されました。

∞政策・事業の内容∞

◇ 政策のポイント

東日本大震災津波において、水門・陸閘の閉鎖作業に従事した多くの操作員が被害に遭った事実を踏まえ、操作員の安全を確保するため、水門・陸閘のゲートを自動的に閉鎖する「水門・陸閘自動閉鎖システム」の整備を行うものです。

「水門・陸閘自動閉鎖システム」は、津波から県民の生命と財産を守る重要な役割を担うものであり、衛星回線を利用し 200 箇所を超える水門・陸閘を一斉に制御する全国にも事例のない先駆的な取組です。

◇ 水門・陸閘自動閉鎖システム整備事業の内容

「水門・陸閘自動閉鎖システム」は、気象庁が発表する津波警報等を全国瞬時警報システム(J-ALERT)により受信することを契機に、衛星回線を通じて統制局から県内の 200 箇所を超える水門・陸閘に一斉に閉鎖信号を送信し、津波時に現地で人が操作することなく安全かつ迅速に水門・陸閘のゲートを閉鎖するシステムです。
(水門・陸閘自動閉鎖システム詳細は、以下のホームページで公表しています。)

<https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kasensabou/kasen/fukkyuu/1009921.html>



△ 政策・事業を実施する県土整備部河川課の職員



∞これまで整備事業に携わっていただいた皆様へ∞

水門・陸閘自動閉鎖システム整備事業は、全国からの派遣職員の皆様の支援、先進的な知識を持った多くの技術者に支えられ、システム整備を進めています。皆様方のこれまでの成果の積み重ねが、今回の受賞につながったものであり、事業に携わった皆様に感謝申し上げます。引き続き、整備の完了に向け取り組んでいきますのでよろしくお願い申し上げます。

岩手「道の駅」スタンプラリーが始まります！

～今年は「復興道路・復興支援道路」開通祈念のWチャンスがあります!!～

道路環境課

1 第17回 岩手「道の駅」スタンプラリーについて

第17回岩手「道の駅」スタンプラリーが11月1日(日)から始まります！

本スタンプラリーは冬期間の岩手の道の駅を「買い物で応援」するために始まったもので、今回で17回目の開催となります。毎年好評をいただき、昨年は約2,600名の皆さまから御応募いただきました。



今年度ポスター

■昨年度からのリニューアルポイント！

- ①復興道路の「三陸沿岸道路」及び復興支援道路の「宮古盛岡横断道路」の開通を祈念し、「Wチャンス特別賞」を開設！
県内道の駅で使用できる5,000円分の商品券が40名様に当たります！
- ②各賞当選額アップ！（昨年比約2倍※）
※Wチャンス特別賞の金額を除く
- ③開催期間延長！（GW後まで応募可能）

■第17回岩手「道の駅」スタンプラリーの応募方法

- 1 開催期間 令和2年11月1日(日)～令和3年5月10日(月)
※応募締切 令和3年5月10日(月) 当日消印有効
- 2 応募方法 岩手県内の道の駅に置かれているスタンプ台紙(応募ハガキ)に各道の駅のスタンプを押印し、切手を貼って応募してください(応募は1人1回まで)。
※当選発表は賞品発送をもって代えさせていただきます。

3 各賞について

- スタンプ34個(全箇所) → 完走賞10名(10,000円相当の県内特産品)
- スタンプ20個以上 → A賞15名(8,000円相当の道の駅特産品)
- スタンプ15個以上 → B賞68名(6,000円相当の道の駅特産品)
- スタンプ10個以上 → C賞30名(3,000円相当の道の駅商品券)
- スタンプ5個以上 → いーはとーぶ賞30名(2,000円相当の道の駅商品券)
- 該当スタンプ10個以上 → Wチャンス特別賞40名(5,000円相当の道の駅商品券)

★詳細は「岩手県「道の駅」連絡会」ホームページを御参照ください

<https://www.thr.mlit.go.jp/iwate/yakudati/michinoeki/index.html>

2 Wチャンス特別賞について



各道の駅位置図（今年度ポスターより）

Wチャンス特別賞では、復興道路「三陸沿岸道路」、復興支援道路「東北横断自動車道釜石秋田線」・「宮古盛岡横断道路」の3路線沿線や沿岸市町村の **19箇所の道の駅から10箇所のスタンプを集めた方が応募可能**です。

左図の黄色着色が対象。内訳は以下のとおり。

高田松原、区界高原、おおの、種山ヶ原、いわいずみ、のだ、たろう、たのはた、白樺の里やまがた、みやもり、やまだ、遠野風の丘、さんりく、とうわ、やまびこ館、みやこ、三田貝分校、くじ、釜石仙人峠(計19駅)

※県内の復興道路の開通予定は、[県のホームページ「岩手県の復興道路」](https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/douro/genkyou/1009673.html)を御参照ください。

<https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/douro/genkyou/1009673.html>

3 今年度開所した34番目の道の駅「はなまき西南」について



位置図



外観(花巻市HPより)

岩手県で34箇所目となる道の駅「はなまき西南」が令和2年8月7日(月)にオープンしました。

花巻南温泉郷等へのアクセスもよく、地元農産物を活用した弁当・惣菜の販売等の特徴がある道の駅です。

4 【お願い】新型コロナウイルス感染拡大防止について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、道の駅来店時は「手指消毒」、「マスク着用」、「お買い物時の距離確保」等、店舗からのお願いに御協力をお願いします。

【問い合わせ先】岩手県県土整備部道路環境課 維持グループ

電話：019-629-5880 FAX：019-629-9124 E-mail：AG0004@pref.iwate.jp